

## 「健康・医療のデータサイエンスが乗り越えるべき課題」

2025年に開催される大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」で描かれる未来社会では、「多様で心身ともに健康な生き方」が実現されていることが望まれます。大阪・関西には世界に誇るライフサイエンス、バイオメディカルの研究拠点が集積しており、万博のテーマに沿った新たなイノベーションでさらなる発展が期待されます。そこで、今回は健康・医療分野で利活用が注目されている健康診断データ、ライフログ等をテーマとして取り上げることとしました。こういったビッグデータの収集・計測・解析は技術的な進歩も著しいですが、今後解決すべき課題も残されています。また、データの取得・収集には、政策・規制も関係します。そこで、本研究会では、健康・医療のデータサイエンスが乗り越えるべき課題を、技術面および政策・規制の両面から議論いたします。

- 【開催日】 平成31年4月19日（金）13:30～18:45  
【会場】 セミナー：グランフロント大阪 タワーC 9階 Vislab  
(<https://cb-lab.jp/access.html>)  
交流会：同タワーC 7階 公益財団法人都市活力研究所セミナールーム  
【主催】 日本バイオインフォマティクス学会・関西地域部会  
【共催】 公益財団法人都市活力研究所  
【後援】 NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、  
NPO法人バイオグリッドセンター関西  
【参加費】 無料、（交流会：2,000円/人）  
【定員】 75名程度（交流会25名程度）  
【申込み】 <http://www.urban-ii.or.jp>  
【プログラム】 司会：森川 裕二（塩野義製薬）

- 13:30 開会挨拶 中川 博之（関西地域部会長、住友化学）  
13:40 講演1「2025年日本国際博覧会について」 山向 薫先生（大阪市）  
14:00 講演2「疲労科学研究から個別健康最大化のための健康関数の開発へ」  
水野 敬先生（理化学研究所）  
14:45 休憩  
15:00 講演3「疲労の日常管理を目指して。カメラによる自律神経機能計測技術  
の開発と健康増進への活用」 船橋 一樹先生（リコー）  
15:30 講演4「人工知能技術による医療診断支援」  
坂無 英徳先生（産業技術総合研究所）  
16:00 休憩  
16:10 パネルディスカッション（※裏面詳細）  
パネリスト：山向先生、水野先生、船橋先生、坂無先生、  
坂田 恒昭先生（大阪大学）  
モデレーター：藤原 秀豪（日本新薬）  
16:50 閉会挨拶  
17:00 セミナー終了  
17:15 交流会開始  
18:45 終了

【お問い合わせ】

事務局 公益財団法人都市活力研究所 味村 TEL: 06-6359-1322



# パネルディスカッション

## 『データサイエンスが乗り越えるべき課題と今後の展望』

### ■パネリスト

大阪市経済戦略局 国際博覧会推進室 国際博覧会推進室長  
山向 薫 先生

国立研究開発法人理化学研究所  
健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム  
融合研究推進グループ 健康計測解析チーム チームリーダー  
水野 敬 先生

株式会社リコー  
イノベーション本部 光システム応用研究センター  
オプトメカトロニクス開発室 オプトメカトロ2グループ  
船橋 一樹 先生

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
人工知能研究センター 研究チーム長  
坂無 英徳 先生

大阪大学サイバーメディアセンター 招聘教授  
坂田 恒昭 先生

### ■モデレーター

日本新薬株式会社 創薬研究所 探索研究部 部長  
藤原 秀豪

(着席順)